

都計協 2017(平成29)年度 第4回理事会・新年賀詞交歓会開催

1月19日、グランドヒル市ヶ谷で

2017(平成29)年度第4回理事会
(一社東京都計量協会
は、2017(平成29)
年度第4回
理事会を2
018年
(平成30)
年1月19日
(金)、15時
に、グ
ランドヒ
ル市ヶ谷3階
「真珠の
間」で開催
した。出席
者は15名、
監事2名の
計17名が出
席した。

【議長】①
2018(平成30)年度
指定定期検査機関部予算

要求(物江事務局長) ②
同年計量管理事業部業務
計画(北野専務理事) ③
同年関口に関する報告
(北野専務理事) ④同年
都計量協会日程説明(北
野専務理事) ⑤各種表彰
候補者の推薦(物江事務
局長)

【会長あいさつ】▽法改正等国の動向を踏まえた
確に対応していく▽出前
計量教室など普及啓発に
重点を▽各種表彰制度を
今後も積極的に活用して
いく。

新年賀詞交歓会
理事会終了後の17時
19時、恒例の新年賀詞交
歓会を同ホテル3階「翡翠
の間」で開催、関係機
関、検定所等の来賓を含
め、出席者42名で新年を
迎えた。



祝った。

【式次第】▽開会あいさ
つ▽清宮貞雄会長▽来賓
祝辞▽林久美子東京都計
量検定所長▽祝杯▽河住
春樹日本計量振興協会専
務理事▽中締め▽岩下貞
治岩下度量衡(株)代表取締
役

2018年度
はかり定期検査等
の予定について
◇ひょう量が250kg以
下のほかり

大和市7月24日～8月6
日▽西東京市8月1日～
8月30日▽清瀬市8月3
日～8月24日▽小平市8
月7日～9月4日▽大田
区8月27日～11月29日▽
東久留米市9月3日～9
月14日▽北区9月6日
～10月25日▽東村山市
9月18日～10月10日▽
武蔵野市10月11日～11
月5日▽江東区10月26
日～12月21日▽足立区
11月6日～2月5日▽
世田谷区12月3日～3
月26日▽杉並区1月14
日～3月20日▽墨田区
2月6日～3月27日

▽荒川区4月2日～5月 11日▽渋谷区4月2日～ 5月25日▽中野区4月4 日～5月22日▽大島町5 月14日～5月18日▽利 島村5月14日～5月18日▽ 新島村5月14日～5月 18日▽式根島5月14日 ～5月18日▽神津島村 5月14日～5月18日▽ 檜原村5月24日～5月 25日▽瑞穂町5月22日 ～5月30日▽日の出町 5月28日～6月1日▽ 奥多摩町5月28日～6 月1日▽羽村市6月1 日～6月12日▽あきる 野市6月4日～6月18日 ▽青梅市6月4日～6月 28日▽昭島市6月13日 ～7月4日▽福生市6月19 日～6月28日▽小笠原村 7月2日～7月6日▽国 分寺市7月2日～7月23 日▽立川市7月2日～8 月2日▽国立市7月5日 ～7月17日▽武蔵村山市 7月18日～7月30日▽東 分寺市、武蔵村山市、東 久留米市、東大和市、清 瀬市、国立市、東村山市、 立川市6月18日～8月10 日▽小平市、武蔵野市、 西東京市7月17日～8月 31日▽北区、足立区8月 20日～10月5日▽大田 区、江東区9月18日～1 月31日▽墨田区、杉並区、 世田谷区1月15日～3月 29日	◇ひょう量が250kgを 超え2t以下のはかりお よび都が指定した事業所 ▽中野区、渋谷区、荒川 区4月2日～5月11日▽ 奥多摩町、瑞穂町、青梅 市4月23日～5月31日▽ あきる野市、日の出町、 羽村市、福生市、昭島市 5月21日～7月6日▽国 分寺市、武蔵村山市、東 久留米市、東大和市、清 瀬市、国立市、東村山市、 立川市6月18日～8月10 日▽小平市、武蔵野市、 西東京市7月17日～8月 31日▽北区、足立区8月 20日～10月5日▽大田 区、江東区9月18日～1 月31日▽墨田区、杉並区、 世田谷区1月15日～3月 29日
--	---

適正計量管理主任者 養成講習会

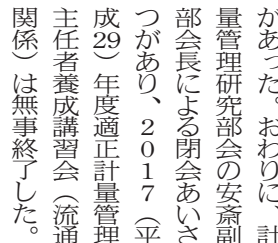
2月9日、東京都計量検定所で

2018(平成30)年
のあましと適正計量管
理事業所制度について①
定所2階会議室A、Bで
適正計量管理主任者養成
講習会(流通関係)を開
催した。受講者は東京都
内9事業所17名であつ
た。

はじめに計量管理研究
部会の小林部会長による
開会あいさつがあり、講
習に入った。講習内容は
以下のとおり。(1)計量法



講師：山本研一統括課長代理



実習講師：計量管理研究部会計量士

量管理規程、計量士の責
務、適正計量管理主任者
の職務⑤適正計量管理事
業所のメリットと罰則
(東京都計量検定所管理
指導課山本研一統括課長
代理)(2)筆記試験(同山
本研一統括課長代理)(3)
商品量目立入検査結果
の解説および講習と筆記
試験合格者(今回は受講
者全員)への認定書授与
があった。おわりに、計
量管理研究部会の安斎副
部会長による閉会あいさ
つがあり、2017(平
成29)年度適正計量管理
主任者養成講習会(流通
関係)は無事終了した。

29日
◇ひょう量が2tを超え
るばかり
▽八王子市(計量証明検
査のみ、昭島市、府中市
4月25日～5月31日▽町
田市、日野市、多摩市、
稲城市、小金井市6月1
日～6月29日▽調布市、
三鷹市、狛江市、中野区、
△騒音計5月7日～8月
31日▽振動レベル計9月
3日～10月12日▽大気濃
度計11月5日～12月7日
▽ガラス電極式水素イオ
ン濃度計指示部1月15日
～2月8日
◇皮革面積計の定期検査
および計量証明検査
10月15日～10月26日

特集 とうきょうの計量

計量器コンサルタント協会

「第2回技術研修会」を開催

(一社計量器コンサル
タント協会は、2月23日
明に使用する自動はかり
第2回技術研修会を開催
した。

今回は、自動はかりを
テーマにエー・アンド・
デバイの開発・技術セン
ターを訪ね最新情報を含
め自動はかりの実機に触
れ、同センター内の見学
をおこなった。

8年度中に改正公示がな
されるとしている。現時
点の方向性として、必ず
しも直接基準器ではな
く、実際に計量するもの
等を使用した検定の許可
とし、既使用はかりにつ
いては新たに使用するは
かりに比して緩やかな要
件での検定とするとして
いるが未だ内容が見えて
こない。



A&D 開発・技術センター

和52)年に創業、「はかる」
ことを通じ、産業と社会
の発展に貢献し2017
(平成29)年度単独売上
は290億円を誇る。主
な事業内容は、電子計測
器、産業用重量計、電子
天平、医療用電子機器、
試験機、その他電子応用
機器の研究開発、製造、
販売となっている。開発
技術センターは1989
(平成元)年5月に鴻巣
工場より移管され開設さ
れた。効率の良い開発を



http://simp reag.jp/

おこなったため部門を3つ
に分けて適材適所の人員
を配置、目的と責任を明
確にしている。1つは成
品品群として電子天平
製品群として電子天平
井氏より自動は
かり(AD496
機、各種センサ



AD4961

する。2つ目は、DSP
た。AD4961はクラ
ス最高の選別精度3σを
実現する新設計のデジタ
ルロードセルと高速処理
が可能なCPUを搭載し
たモデルで、外部との接
続・通信が可能。システ
ム構築が容易におこなえ
る。山崎氏より天
びんや台はかり、
新商品の説明を受
けたあと、小岩
井氏より自動は
かり(AD496
機、各種センサ

CAMPBELL SCIENTIFIC, INC.
各種データロガー、センサー、ウェザーステーション、各種測定システム
Sentek technologies
Sentek Sensor Technologies
プロファイル土壌水分センサー各種
日本総代理店

おかげさまで創立 80 周年を迎えました。
太陽計器株式会社
http://www.taiyokeiki.co.jp
営業本部 〒114-0032 東京都北区中十条 1-12-3
電話 03-5963-5361 FAX 03-5963-5362

ハカリは共栄
(寺岡)デジコンポ特約店
各種計量器・計測器・ラベラー機販売修理
[全国計量器販売事業者連合会・会員]
[認定計量器コンサルタント有資格者の店]
共栄衡器器
東京都足立区千住河原町45-6
TEL 03(3882) 8101 (代)
FAX 03(3882) 8172
E-mail: sales@kyoei-koki.com
URL: http://www.kyoei-koki.com
保守管理・代行検査業務・ISO対応計量管理業務

トラックスケール・計量装置を総合サポート
はかりのレスキュー隊
確かな技術力!現場の声を生かします
株式会社 こうぎょう
ワーク衡業
東京都江戸川区鹿骨1-6-8
(〒133-0073) TEL 03-3679-0086
FAX 03-3677-5703
フリーダイヤル: ワーク キュー キュー シヤ
0120-809-994

検定所

適正計量管理推進の取り組み

3月20日講演会講習会開催

計量記念日関連の事業として、11月を計量管理強調月間とし、適正計量管理事業所および自主計量管理に努める大規模小売店の協力のもと、従業員および消費者への適正計量の普及啓発に取り組み、12月には47事業者から報告があった。

主な取り組み内容は、ポスターや標語の掲示、計量器の点検整備、量目検査の実施、巡回等による計量指導などであった。このほかの関連事業としては、2017(平成29)年7月14日「適正販売されている商品の

2017(平成29)年度
年末期商品量目立入検査結果

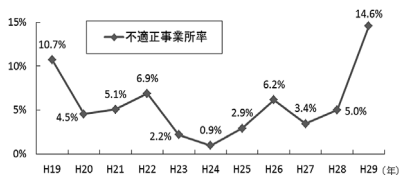
東京都計量検定所は、11月1日から12月6日まで、都内のスーパーマーケット、一般小売店(駅ビル含む)、食品製造所など158事業所に対し、販売されている商品の「表記された内容量」と「実際の内容量」との差が計量法で定められた許容誤差を超えて不足していないか、「内容量」「計量単位」「事業所名・住所」の表記が正しいかを確認

関係政省令改正」および「自動捕捉式はかりのJIS改正進捗状況」についての説明会を「計量管理講演会・技術講習会」として13時半より当所会議室で開催する。

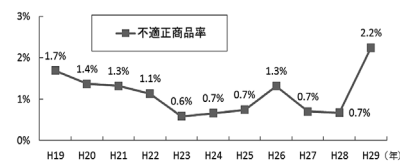
【問い合わせ先】東京都計量検定所管理指導課指導担当Ⅱ電話03-5617-6635

するため「年末期の商品量目立入検査」を実施した。

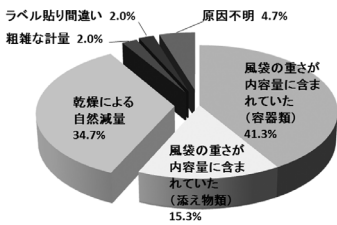
検査の結果、158事業所のうち計量法で定められた許容誤差の範囲を超えて内容量が不足していた「不適正商品」の割合が検査商品数の5%を超えた「不適正事業所」



不適正事業所率の推移



不適正商品率の推移



不適正商品の発生理由

また、6674点の商品のうち不適正商品は150点(2.2%)で、不適正事業所率、不適正商品率共に過去10年間で最も高い結果となった。

不適正事業所の業態別内訳は、スーパーマーケットで121事業所のうち21件(17.4%)、一般小売店(駅ビル含む)で24事業所のうち1件(4.2%)、食品製造所で13事業所のうち1件(7.7%)であった。

また、不適正商品の部門別内訳は、野菜類164点のうち62点(3.8%)、魚介類1834点のうち42点(2.3%)、食肉類1768点のうち24点(1.4%)惣菜類1

た商品で損失金額が一番大きかったのは、食肉類で180円(税抜)であった。

なお、計量法違反となる不適正商品については、その場で計量上の問題点を説明し、再計量を指示した。また、計量業務に携わる従業員へ教育を徹底するよう指導した。

不適正事業所に対しては、再度改善状況の確認等を実施し、その際に改善されていない場合には、「改善勧告」、「不適正状況の公表」、「改善命令」等の計量法に基づく措置をおこなう。

検査結果の詳細については、生活文化局ホームページ(1.4%)惣菜類1

この「特集・とつきようの計量」は隔月(偶数月)に発行し、東京都計量協会に発行し、東京都計量協会に配布してあります。会員皆様のご投稿・ご意見・ご質問のほか、各都道府県の動きなど是非お寄せ下さるよう、ご支援をお願いいたします。

【編集委員(50音順)】
▽石井康二▽大木朗▽北野芳男▽坂本雅広▽高田慎吾▽高松宏之▽竹内健治▽竹添雅雄▽奈良広一▽物江稔▽横山守二
(一社)東京都計量協会 ☎03-6666-8960

シリーズ
計量と適合性評価 (4) 奈良広一

カシミヤ100%
タグ制度

前回ではISO9001などのマネジメントシステム認証や、JISの製品認証についてとりあげた。会社と会社の取引ではいわず双方とも大口であり、一般に購入側はその発注に対して何が納入され、それが自らの目的にあっているかを判断する能力がある。では、納入側が消費者だったから指示・指導が繰り返されている。

市場で見抜けるわけがない。指示・指導があった事例などでは偽カシミヤセーターを買った人に返金があったのかもしれないが、たまたま市場調査で引っかかったので指示・指摘の対象となった。これは氷山の一角だろうと思うのが普通の考え方だろう。

このようなことが起こるとどうしても消費者は疑心暗鬼になり、買い控えが起る。良心的な業者にとつてはひどい迷惑だ。ではどうすればいいのだろうか?セーターから一部を取って『試験』をする(プロが顕微鏡でみると毛の種類がわかるらしい。)ことはできる。

しかし、試験所が満たすべき国際規格であるISO/IEC17025では、その試験報告には『該当する場合、結果がその試験・校正品目だけに限るものであるという旨の表明』(同規格の2005年版では5.10.2.4、最新の2017年版では5.8.2.1)をすることになっていて、平たく言うと「このセーターからのサンプルは合格だけれどあなたにセーターは知らないよ」というのが『試験』である。従って、ただの『試験』だけでは問題の解決にならない。

その典型的な例が、(一財)ケケン試験認証センター(製品認証機関であり、以下では「試験認証センター」と引用する)のセーターは知らないよ」というのが『試験』である。従って、ただの『試験』だけでは問題の解決にならない。

市場で消費者はそのタグを目印に安心して購入することができると。では、そのタグは信頼できるのか?信頼できるものとするメカニズムは何か?今回の主題である「カシミヤ100%」の製品を購入することができると。

は、対象製品群から抜き取りで試験し、その対象製品群に対して「カシミヤ100%タグ」をつけ、市場で消費者はそのタグを目印に安心して購入することができると。

明したのだが、このような制度設計をすれば認証のコストとメリットがすには、ルール作りとそれに従った運用の2つが車の両輪である。どれだけの頻度でサンプリングし、どのようにすり替えを防ぐように認証の信頼性を高め、試験コストも勘案し制度設計をする必要がある。製品認証にはコストがかかり、どのよう

供給側と購入側には知識の著しい不均衡があり、うかなど素人の消費者に

供給側と購入側には知識の著しい不均衡があり、うかなど素人の消費者に

供給側と購入側には知識の著しい不均衡があり、うかなど素人の消費者に

供給側と購入側には知識の著しい不均衡があり、うかなど素人の消費者に

供給側と購入側には知識の著しい不均衡があり、うかなど素人の消費者に

供給側と購入側には知識の著しい不均衡があり、うかなど素人の消費者に

供給側と購入側には知識の著しい不均衡があり、うかなど素人の消費者に

供給側と購入側には知識の著しい不均衡があり、うかなど素人の消費者に

供給側と購入側には知識の著しい不均衡があり、うかなど素人の消費者に

供給側と購入側には知識の著しい不均衡があり、うかなど素人の消費者に



消費者が安心する仕組み

消費者が安心する仕組み

消費者が安心する仕組み

消費者が安心する仕組み

計量器のデパート

AND SATO SATO

新センサーSHSを搭載 分銅内蔵 電子天秤GXシリーズ ご用命は

温度・湿度のデータを記憶 データロガー 記憶計 SK-L200THIIα

簡単操作で塩分濃度、温度、濁度を測定! 塩分濃度計SK-5S

全国計量器販売事業者連合会・会員 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13 電話 03-3241-1824・7016 F A X 03-3241-3036

株式会社 三友産業社

とうきよの計量④⑤面のつぎ

部会・団体

だより

東京計量士会

1月12日(金)、東京計量士会新年交歓会が、築地「江戸銀本店」で東京都計量検定所林所長、日本計量振興協会秦常務理事、東京都計量協会北野専務理事、同物江事務局長、計量器コンサルタント協会石井会長、日本計量新報社高松編集部長臨席のもと、総勢37名が出



あいさつする小林会長

席して開催された。小林会長から、「昨年は、上場企業の検査データ偽装、無資格検査員に完成車検査をおこなわせていたなどの問題が報道された。こうしたことはあってはならないこと。われわれ計量に携わる者も同様なことが起きないよう気を引き締めていかなければならない。今年、自動はかりの検定にともなう指定検定機関の指定開始など、政省令改正の具体的な内容も見えてくる。当士会もこうした問題に対応できるような体制を作り、会員の皆様に有用な情報を提供していきたい」と、年頭のあいさつをした。

来賓を代表して林所長と秦常務理事にあいさつをいただき、印南当士会、乾杯の発声で和やかに新年を祝った。

日本硝子計量器工業協同組合

2017年12月8日(日)理事会開催。11月開催の理事会議事録の確認、月次会計報告、水銀製品製造申請について、冷蔵庫用温度計発注について。

2018年1月26日(日)新年会をホテルグランドヒル市ヶ谷で開催。経済産業省、(独)産業技術総合研究所、(一社)日本計量機器工業



日本硝子計量器工業協同組合の新年会

東京都計量検定所 年度事業報告のお願い

本年度も、計量法施行規則第96条に基づく2017(平成29)年度(2017(平成29)年4月1日から2018(平成30)年3月末日まで)の報告書(年度事業実績)の提出をお願いします。対象事業者および連絡先(一) 適正計量管理事業

「代検査業務連絡会」議開催のお知らせ

東京都内で代検査業務をおこなっている計量士を対象に以下の日程にて連絡会議を開催する。

【開催日時】2018(平成30)年3月8日(木)15時

17時

【場所】東京都計量検定所2階会議室B

【議題】①代検査実績について②来年度定期検査日程について③その他

【問い合わせ先】東京都計量検定所検査課計画担当 電話03-556117

6638

計量計測機器産業に関わる企業・団体・機関が一望できるリンク集

計量計測機器産業ネット

http://www.keisoku-net.jp/

社説 学校は記憶容量とアプリケーションを確認するところ

世界の経済は穏やかな均衡を保っており、そよ風が吹く状態だと形容される。貨幣である金の実態に対して米国の過剰に紙幣を印刷・供給し、中国も似たようなことをしているように思われる。日本の場合には縮小する経済規模を押しとどめるために通貨供給量をむやみに増大させている。米、中、日と欧州などの経済の動きが日本の株価市場に反映してバブル期の株価水準に近づいている。株式市場にお金を投じている人はみな利益を出しているというのがこの道に通じた人の言葉である。

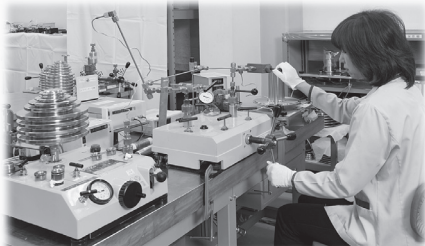
新卒者の雇用は増えている。しかし新卒者は勤めて数年で転職する時代だから間に合わせの不満足な勤務をつづけていることになる。世の中理屈っぽくなっていると感じている。東大と京大の卒業生の人気企業をみてなんとなくそれがわかった。2019年春卒業予定の学生を対象にした調査で最も人気が高かったのはマッキンゼー・アンド・カンパニー次いでボストンコンサルティング・グループ(BCG)。さらにアクセンチュア、ベイン・アンド・カンパニー、A・T・カーニーなど

階段をのぼるにつれて仕事の振り分けが決まり人生の予測がついてしまふというのが日本の学校制度である。その学校制度をどのように理解すればよいか考えた。コンピュータにたとえれば記憶容量とソフトウェアとしてのアプリケー

ションである。この修得の訓練を学校でする。記憶容量が小さいものは聞かぬが高い学校に進めない。理学や工学のアプリケーションが備わっていないものはこの専門分野では働けない。のちに修得するという方法もあるが企業はそれを受け付けない。法律や経済や商業や文芸などの分野のアプリケーションはセールズとか営業とかのアプリケーションとしてとらえられているようだから、超有名な校の卒業生以外は営業の下積みから仕事を始める。その後には総合力を発揮して栄進する人は少なくない。

「リーダーシップ」「オーナーシップ」「勝利への情熱」といった聞こえのよい言葉による企業方針があってもこれをまともに実行できる人は少ない。企画と構想の力を持たない、自分の仕事だとは思っていない、情熱に似たものはあっても形にできない、といった人がほとんどである。衣食住のうちで食えることは健康の基本であるのに、まとも食えることよりも副食が健康をつくと思われている日本のヘンテコな状態があり、有名食品企業と製菓会社はこの方面に力を注ぎ稼いでいる。その情熱と力を日本の未来をつくる分野に注がないのでは勤めがつかまらないし、産業と経済の先が危ぶまれる。

圧力計測機器の校正は長野計器グループへ



高いスキルを持ったスタッフが丁寧にJCSS校正作業をおこなっています。

豊富な校正機器、充実した校正設備で様々なニーズにお応えします。



長野計器とナガノ計装は、計量法に基づく圧力の校正事業者です。



長野計器株式会社 品質保証部(JCSS0080)と株式会社ナガノ計装 計測器校正サービスセンター(JCSS0143)は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。



本社/〒143-8544 東京都大田区東馬込 1-30-4 TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320 http://www.naganokeiki.co.jp/ お問い合わせはフリーコール/0120-10-8790

長野計器

ナガノ計装

本社/東京営業所 〒143-0022 東京都大田区東馬込 1-30-4(長野計器ビル) TEL 03-5718-3281 FAX 03-5718-0238 http://www.nagano-keiso.co.jp

118年の伝統とイノベーションの計量装置総合システムメーカーです。

OMI 計量と制御の技術集団

OMIの製品<支えるのはイノベーション>

各種工業用プラント

各種農水産物選別プラント

液体・粉粒体充填装置

配合・調合計量システム 設計・製造

トラックスケール計量・データ管理システム

トレーサビリティ管理システム

各種穀物用計量機

多様なニーズに110余年の技術開発とノウハウでご提案します。

計量システムの専門メーカー

伝統の技術・先進の技術・信頼の技術

近江度量衡株式会社

本社 〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉 3-11-70 TEL.077-562-7111 FAX.077-562-7116

【国内拠点】本社草津工場・東京・札幌・帯広・仙台・新潟・熊本・久留米【海外拠点】韓国(仁川)・中国(上海)・タイ(バンコク)

URL: http://www.omiscale.co.jp

